

Economic Indicators

発表日: 2023年9月8日(金)

主要経済指標予定(2023年9月11日~9月15日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム(Tel: 03-5221-4525)

(9月11日~9月15日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
9月11日 (月)	8:50 8月マネーストック				
	M2(前年比)	2.4%	2.4%	2.3%~2.5%	+2.4%
	M3(前年比)	1.9%	1.9%	1.8%~2.0%	+1.9%
	広義流動性(前年比)	2.3%	2.4%	2.3%~2.5%	+2.4%
9月12日 (火)					
9月13日 (水)	8:50 8月企業物価指数				
	(前月比)	+0.2%	—	—	+0.1%
	(前年比)	+3.3%	+3.2%	+3.0%~+3.3%	+3.6%
	8:50 7-9月期法人企業景気予測調査				
	景況判断BSI大企業製造業	—	—	—	▲0.4
全産業	—	—	—	+2.7	
9月14日 (木)	8:50 7月機械受注統計				
	船電除く民需(前月比)	▲1.0%	▲0.2%	▲2.5%~+3.5%	+2.7%
	(前年比)	▲11.1%	—	—	▲5.8%
	13:30 7月鉱工業指数・確報				
	鉱工業生産指数(前月比)	—	—	—	▲2.0%
	(前年比)	—	—	—	▲2.5%
稼働率指数(前月比)	—	—	—	+3.8%	
9月15日 (金)	13:30 7月第3次産業活動指数				
	(前月比)	+0.1%	—	—	▲0.4%
	(前年比)	+2.2%	—	—	+1.8%
	13:30 7月商業動態統計・確報				
小売業販売額(前年比)	—	—	—	+6.8%	

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成

8月企業物価指数・国内企業物価 当社予想：前年比+3.3% 中央値：同+3.2%

8月の国内企業物価を前年比+3.3%、前月比+0.2%と予想する。燃料価格の下落が遅れて反映される電気・ガス・水道代はマイナス寄与が拡大した一方で、足元の原油価格上昇や政府による補助金政策縮小によってガソリンを中心とした石油・石炭製品が押し上げ、前月比で上昇となった見込み。前年比でも鈍化ペースは抑制され、小幅鈍化に留まったとみられる。

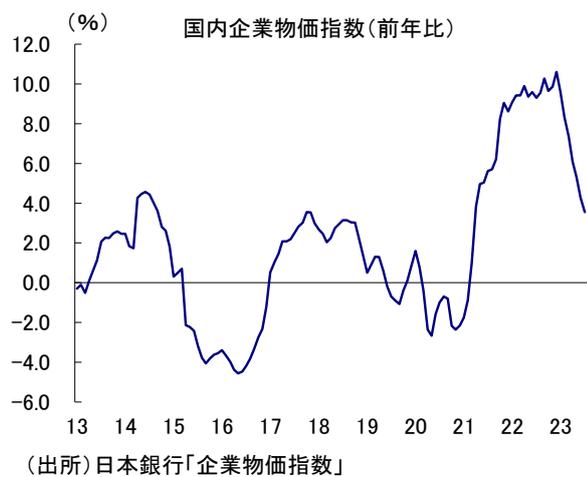
(副主任エコノミスト：大柴 千智)

7月機械受注・船舶電力除く民需 当社予想：前月比▲1.0% 中央値：同▲0.2%

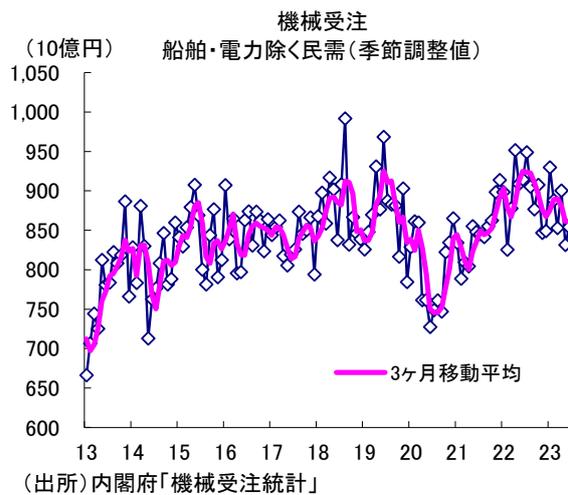
7月の機械受注（船舶電力除く民需）は前月比▲1.0%と2か月ぶりの減少を予想する。前回公表された7-9月期見通しでも減少が見込まれていた通り、国内外ともに財需要が振るわない中で企業の機械投資に対する慎重姿勢は続いており、製造業、非製造業ともに前月からの反動減が出やすいことから、今月は減少したと見込む。先行きの機械受注もしばらくは停滞感の強い状況が続くだろう。

(副主任エコノミスト：大柴 千智)

図表1



図表2



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。